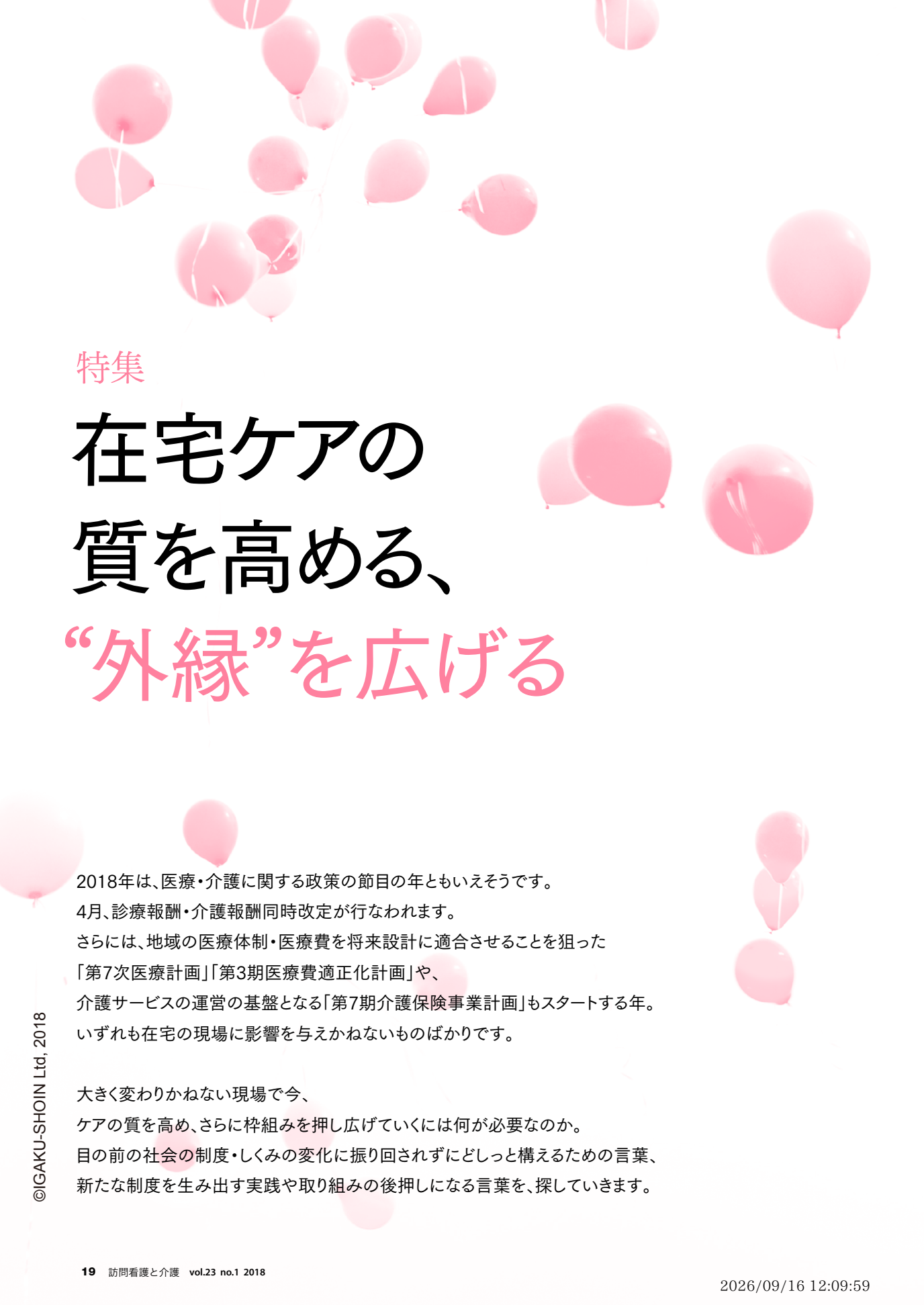




特集

在宅ケアの 質を高める、 “外縁”を広げる

2018年は、医療・介護に関する政策の節目の年ともいえそうです。

4月、診療報酬・介護報酬同時改定が行なわれます。

さらには、地域の医療体制・医療費を将来設計に適合させることを狙った

「第7次医療計画」「第3期医療費適正化計画」や、

介護サービスの運営の基盤となる「第7期介護保険事業計画」もスタートする年。

いずれも在宅の現場に影響を与えかねないものばかりです。

大きく変わりがねない現場で今、

ケアの質を高め、さらに枠組みを押し広げていくには何が必要なのか。

目の前の社会の制度・しくみの変化に振り回されずにどしっと構えるための言葉、
新たな制度を生み出す実践や取り組みの後押しになる言葉を、探していきます。